

地場産業の振興を目的とした
研究・商品開発

新しい価値に基づいた県産品開発 ユニバーサルデザインを 導入した南部鉄瓶



岩手県工業技術センターでは平成13年度から15年度まで「ユニバーサルデザイン推進事業」を実施しました。平成13年度には南部鉄器協同組合と南部鉄瓶をユニバーサルデザイン化するための共同調査・開発をしました。

この鉄瓶は今までの様式にはこだわらず、「注ぎやすさ」、「吹きこぼれにくさ」など使い勝手に徹底的にこだわった新しいものです。

はじめに

岩手県には長い年月に培われた良質の県産品が多数存在します。これら県産品がこれからも多くのユーザの要求にこたえるために、岩手県工業技術センターでは県産品へのユニバーサルデザインの導入を目指しました。

ユニバーサルデザインとは「すべての人のためのデザイン」。だれでもが快適に暮らすことができるよう、環境、デザイン、サービスを提供しようという考え方です。

今回は平成13年から15年まで行われた「ユニバーサルデザイン推進事業」の成果品の中から、南部鉄器協同組合と共同開発したユニバー

サルデザイン対応鉄器「伝統+」シリーズをご紹介します。

開発の経緯

「伝統+」シリーズは、ユニバーサルデザインの考えを導入することを目的に、南部鉄器協同組合と共同でユーザの調査からデザイン・設計、販売までの一連の開発を行いました。

まずは「すべての人に使いやすいデザイン(鉄瓶)」とはどういうことかを知るために、鉄器のユーザがどのような状況で、どのような行動をとるのかを調べることから始めました。

そこで、実際に現状の鉄器製品をサンプルとして入手し、実際に使ってみるなどして各道具の使用手順

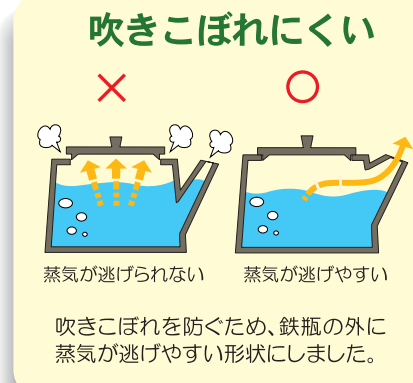
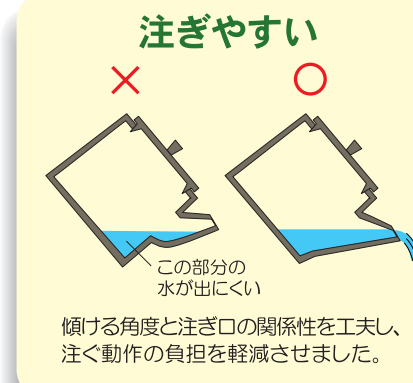
を想定、その手順の各段階において使いにくい部分、不便な部分をリストアップしていきました。

次に調査から得られた問題点を解決するアイデアを考案し、鉄器の初期デザインを数十点構築していきました。

それぞれの初期デザインについて、フィンランドから厨房用品のデザイナーを招聘し指導を受け、現場の職人さんと意見交換などを行いながらデザインを練り上げ、最終的に16点のデザイン案を起こしました。

そして、南部鉄器協同組合に加入する企業様に1点ずつ、合計10点をそれぞれ試作製作しました。

こうして作られた製品の特長はガス台などに安定して載せられ、



電磁調理器にも対応する平らな底面

水を一杯に入れても蒸気が逃げ、吹きこぼれない

水を入れやすく多様な持ち方のできる片手のつる:ハンドル
傾けても落ちない蓋(ふた)等、多くあげられます。

その後、試作した南部鉄瓶は東京都内有名百貨店のユニバーサルデザイン商品コーナーで展示販売を行いました。中心価格が3~5万円と一般の鉄瓶より高値ではありましたが、最終日には展示商品がほとんど品切れ状態になるほど好評を博しました。その後も都内を中心に6回の展示会を行いました。

また、2002日本クラフト展にも出展し、10点のうち5点が入選を果たしております。

さらに、現在の「伝統+」南部鉄瓶シリーズはすでに初代から数えて3回の改良を加え、また、職人さん独

自のユニバーサルデザイン導入製品も出始めており、南部鉄器のユニバーサルデザインの導入は今後さらに完成度を高めていきます。

今後の展望

「ユニバーサルデザイン推進事業」では鉄器のほかにも年度ごとに木製家具、食器等の製品開発も行いました。岩手県工業技術センターでは今後もこれらユニバーサルデザイン導入製品をさらに使いやすいように改良し、各企業様から定番商品として販売されるまで支援を行っていきます。将来は岩手産のユニバーサルデザイン導入ブランドとしてシリーズ化していきたいと考えております。



今後も店頭販売の数を増やし、また展示会・販売会等に多く出品して行きますので、一度手に取ってご覧頂ければ幸いです。

お問い合わせ先 岩手県工業技術センター 企画情報部
TEL 019-635-1119(相談ホットライン)
FAX 019-635-0311
URL <http://www.kiri.pref.iwate.jp/kiri/>
E-mail kikaku@ac.pref.iwate.jp